

例会報告 Rotary



第2763回例会
令和6年11月29日

ロータリーの
マジック

ロータリー財団委員会

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 田中 晶洋
- 会報委員長 阪下 六代

<会長の時間>

10月9日ウィンブルドン大会は、2025年の大会からボールがコート内に入ったかどうかを判定する線審（ラインジャッジ）を廃止する旨の発表がありました。

テニスの4大大会（グランドスラム）は全豪、全米、全仏そしてウィンブルドンとあります。ウィンブルドンの場合線審は9名配置され、大会期間中約300名の線審が必要とされます。全米及び全豪はすでに線審を廃止していますが、歴史と伝統あるウィンブルドンは線審を廃止していませんでした。線審の配置と同時にホークアイ（鷹の目）と言われる機械判定を導入し、線審の判定に異議ある選手はラケットを上げ主審に異議を申し立て機械判定に従うチャレンジシステムを採用していました。会場に映像が流れ観客も息を飲んで結果を待ちます。ホークアイの導入後、ずいぶん時間がたち、機械判定が信頼性を獲得したので線審の廃止に至ったようです。ウィンブルドンの責任者が述べるには「伝統と革新のバランスに責任を持つ必要がある」そうです。

RCも伝統と革新のバランスを大事にしながらいかなければと思います。伝統だけに縛られてはいけないし、革新に偏重してもいけない、この微妙なバランスが大事だと思います。

なおセンターコートにはルーファスと言う鷹が実際にいます。朝5時から観客が入場する9時までがお仕事で、鳩などを追いかう業務をしています。この辺りが歴史と伝統のあるウィンブルドンだと思います。



<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
24名	-	24名	36名	76.47%

<オープン例会にご参加頂いた皆様>



岐阜エトスRC会長
市橋 明人 様



インラック(株)高山営業所長
村口 拓也 様



飛騨高山わらべうたの会理事長
岩塚 久案子 様



(株)光華メガネ店常務取締役
周 光大 様

<幹事報告>

◎可児ロータリークラブより

- ・創立50周年記念式典 ご招待

日時 令和7年3月16日(日)
14:00~15:00

会場 可児市文化創造センター アーラ
祝賀会 16:00~18:00 会場 グリーンキャメットリバーサイド



<例会変更>

- 高山 … 12月19日(木)は、忘年例会のため、18:30~角正に変更
12月26日(木)は、定款により休会
令和7年1月2日(木)は、定款により休会
令和7年1月9日(木)は、新年例会のため、18:30~洲さきに変更
令和7年1月16日(木)は、定款により休会
- 高山中央 … 12月23日(月)は、忘年例会のため、18:30~銀風に変更
12月30日(月)は、定款により休会

<本日のプログラム>

ロータリー財団委員会

委員長 長瀬 達三

田中幹事より、「長瀬君、何もやらなくていいから」と言われて財団委員長をお引き受けたいしましたが、担当例会があるという認識はありませんでした。また、財団委員長だからなのかどうか分かりませんが、10月20日に行われたポリオ根絶ミーティングにも参加して参りました。結果的に、参加してきてよかった、というのが本当のところではあります。

ロータリアンになって10年ほど経ちますが、ポリオという単語は知っていても、世代的にまったく身近な病ではないため、どんな病気で世界でどのように認識されているか、ロータリーがどんな経緯でポリオの根絶活動を行っているのか、何も知りませんでしたから、これらを認識する良いミーティングでした。

翻って、ポリオ根絶活動が「ロータリーの1丁目1番地」だっしてみなさんご存知でしたか。我がクラブでは根絶活動に熱意を燃やしている雰囲気はありません。



例会報告

ロータリーがなぜポリオ根絶活動に取り組んでいるのか、ポリオがどのような病気で現在どのような状況なのか、あと少しで根絶ではあるもののガザ地区で感染が再発している事実や、まずはポリオという病気を全世代に認知してもらうためには各地のロータリーがどのような取り組みをすべきなのか、具体的な地域や各クラブの取組方法などをお話いただけたらと思います。

本日はゲストスピーカーとして高山中央ロータリークラブの前越路子さんにお越しいただきました。

前越先生は、昭和31年8月高山生まれ、愛知学院大学大学院卒業後、平成4年に名古屋税理士会に登録、なんと高山市で開業した初の女性税理士です。

平成24年春、高山中央ロータリークラブに入会し、平成28年度の剣田ガバナー第1期目には会計長をお務めになりました。また、地区委員としてポリオ募金活動等にもご参加されるなど、私の周囲のどのロータリアンよりもポリオについてお詳しいだろうと思い、お願いいたしました。

それでは前越先生よろしくお願ひします。



ロータリーとポリオ根絶活動

高山中央ロータリークラブ 前越 路子 様

ロータリーと、ポリオの関係は、1979年フィリピンの600万人の子供たちに対しての予防接種プロジェクトに始まります。1985年には、国際協調支援であるポリオプラスを立上げ、募金活動を開始当初の目標を1億2千万ドルとしました。2003年には、12か月のキャンペーンで1億1900ドルを募り、寄付総額で5億ドルを超えました。

世界ポリオ根絶活動推進(GPEI)の立上げ当初から、ロータリーはパートナーとして活動し、現在99.9%まで減少することに貢献してきました。アフガニスタンとパキスタンでまだ残っています。

今年の8月に、ガザ地区でポリオの感染確認があり、ユニセフは9月から予防接種を始めています。ワクチン接種の間、戦闘など各段階の人道的一時停止が続いています。

また、このロータリーの活動に今年の9月ブラジルで、オズワルド・クルス功労勲章を授与されています。

ポリオとは、どんな病気でしょうか。急性灰白髄炎、脊髄性小児まひと呼ばれています。

5歳以下の子供がかかることが多く、まひなどを起こすことがあります。

感染は、人の便からです。感染力が強く、神経を侵して永久的な筋力低下や、まひを引き起こし、命にかかわることもあります。

治療薬は存在しません。発症後は対症療法のみになります。

予防として、ワクチン接種があります。口から飲む経口生ワクチンと注射の不活性ワクチンの2種類があります。口から飲むものは2回する必要があります。

日本では、1961年に輸入生ワクチンの緊急投与が行われ、1963年からは定期接種が始まりました。その結果患者は激減、1981年以降は現在まで患者は出ていません。

根絶の認定が達成されるまでは、現在もポリオプラスは、国際ロータリーの他のすべてのプログラムに対して優先される第一目標です。

あと少しなのに、なぜまだ巨額の資金が必要なのでしょう。まず、野生株ポリオウイルスによる発症が起きている国で感染を断ち切る。すでにポリオが根絶した国にウイルスが流入しないようにする必要があります。

予防接種キャンペーンがまだ続いている、自国で接種コストを負担できない国もまだまだ存在し、そのため多額の費用が必要となっているので、国際ロータリー ポリオプラスプログラムは支援を続けています。

2630地区では、インドにてワクチン接種に参加する活動、ラッピングバス、街頭募金、2023年は、パキスタンでのワクチン接種に参加、ガバナーラッピングカーも走っています。また、地区での会議協議会での募金活動も行っています。

ポリオプラス、ソサエティは、毎年100ドルをポリオプラスに寄付していただくことを表明していただくプログラムです。登録していただく、登録書とメンバーのピンバッジを受け取っていただきます。ぜひともご参加ください。

<ニコニコボックス>

●米澤 久二さん、田中 晶洋さん

先今年是夏が長かった気がしますが、いよいよ冬到来で白いものがチラチラ舞って来ました。本日のゲストスピーカー高山中央ロータリークラブの前越 路子 様のご来訪を歓迎いたします。また、オープン例会にご参加の岐阜エトスロータリークラブ会長の市橋 明人様、そして村口 拓也 様、岩塚 久菜子 様、周 光大 様のご来訪を歓迎いたします。会員の皆さんと親交を深められる様祈っております。

●鴻野 幸泰さん

先日、家内の誕生日に綺麗な花ありがとうございました。また本日はお弁当をご利用いただき誠にありがとうございます。

●井口 大輔さん、岡田 賛三さん、田中 武さん、堀 幸一郎さん

今朝、上宝神岡は真っ白な雪景色となりました。早朝6:00にお客様の対応をしつつ、職業柄「今年こそ毎日10cm」を願うばかりです。灼熱だった2024年も遂に冬シーズン到来。皆様体調に気をつけつつ、やってくる忘年会シーズンを乗り切りましょう！